

時事新報

營業者の利害を忘る可らず
 當局者が一部の法令を改正するに當り、其改正の目的は初めより云々ならざるも、實際の成迹を見れば思はざる所に影響を及ぼし其法令の下に立つ人民をまて時に案外の不利を覺えしむるの事例亦尠にあらず。要するに法令改正の其始め、當局者の見る所なく所適々事の肯綮を測らして、判斷の材料その宜きを失はざるの誤なりと云はざる可らず。此誤は不完全なる人事社會の常とて、何れの世又何れの人と雖も、全く免るゝ能はざる。寧ろ普通の法則なれば、凡そ世界古今の政治家として我らも、能く利害の事情を通じり、判斷の明を失するまじきなりと己の至善至能を恃り、以て法令を改正するが如きは、我輩の未嘗て聞知せざる所なり。況んや法令に害あることを認めながら、其害と民間に貽する樂とを度して、之を發布し若くは改正するが如きは、於てを良心ある人間の一切が能はざる所なれば、政治上の事柄に此れは云々の惡意を以て施行したり、彼れは兩々の害心にて處置したり、と云ふ其有心故意の如何人を論じ可らざるは、勿論にして、即ち政治當局者の眼中には、唯公正と云ふ二字の題目外、他に守る所あらざる者ぞ看做して、後徐ろに其法令の如何んと議せざる可らず。例へば、爰に政府が一種の新稅を起す、或は舊稅法を改正するの場合に際して、初めより此新法改正法の下に立つ所の營業者として、悉く業を失はしむるの成跡ある可きと知りながら、故意に之を施行するが如きは、斷して人間世界にある可らざる事なり。故に偶然に法と數さ隨て其成跡を見れば、偶然に民間の營業に大困難と與ふるとありとするも、歸する所は、人事不完全の結果なりと歸らめて、漫に當局者を咎む可らずと雖も、然れども、又一方より論ずれば、當局の人にして、自家の智力のあらん限りは、自から思案し、其見の許す限りは、他人にも諮詢して、萬々の安全を求め、最初より心に期せざりし法の結果を見て、後に始て之を驚くが如きの舉措なからんと我輩の希望して已まざる所なり。

右は平生我輩が廣く政治上に就て立る所の意見なれども、之に關して聊か一言せんとするは、外ならず近時世上に風説にては、郵便條例の改正あるの由にて、其中に新聞紙營業に關する一節、新聞紙を發行地三里外に配附するに、郵便局の手を経由するの他に、一切民間私し配達と禁止する條項も存すと云へり。此風説の果して眞なるや否やは、法令發布の後を待たざれば之を知るの方便なれども、假に其筋の間に斯る議論ありとて、之が爲先に實際如何なる影響を來す可きやを尋ねるに、或人の考に、各新聞社に在りては、内々の不便は、兎も角も其配達の費用の之を購讀者が課する者なれば、新法の結果、直又各社の營業を損せしむるものにあらざるとの議論を、假に爰に之を是なりとし、更に一步を進めて、今の新聞賣捌、取次人ある營業者の運命を如何にと云ふに、新法若し、取次布とならば、彼等は全く廢業して、他に方向を轉せざる可らざるの不幸に會するは、必然の數なり抑も此新聞賣捌取次人なる一種は、近來新しき起りたる營業者なりと雖も、其營業は、既一個專門に商賣にして、其人亦純然たる獨立の商人あると一般他の商業社會に殊ならず、而して全國に散布する其數は、未だ精細なる統計を得ざれども、府縣廳所在の地なれば、多たの數十少きも五六を下らず、其他地方の一小都會を爲す者は、言ふに及ばず、或は山村水濱に至るまでも、交通の便開けて加ふるに、其地に新聞紙購讀者あるに於ては、新聞紙賣捌なる一種の營業も、亦必ず之に伴ふて繁昌するの趣、全國各地概ね皆然らざるなし、且つ此賣捌人なる一種は、地方に在りては、書籍商の之を兼ねる場合も、尠れども、今日の處にては、新聞紙取次賣捌を以て本業と爲す者甚だ多く、先づ此一業と根本として、之に依て衣食し、傍ら兼て地方人に書籍雜誌供給の便路をも與へ、知識傳播、人智開發の爲めに平生盡す所の其功、尋常からざるは、世人の詳に悉る所あり去る明治十八年中の官府の調査に據るに、全國新聞雜誌の賣捌、僅け金高九十九萬餘圓、即ち大數一百万圓の商賣あるは、當時に在りて、既小額と云ふ可らず、然るに今日に至りては、人事の進歩、三四年前に較べて一層著しければ、隨て新聞雜誌の發賣數増加したるは、言ふに及ばず、其他地方交通の便開けて、配達に費用を減じ、各社賣捌の方法大に整頓して、購讀者の便を促したる事、明治十九年來、各社互に定價を引下げ、新聞紙發賣の路廣まりたる事、以上此等の諸因併せ、動て其働を爲し、さるの功、莫大なるが故に、三四年の今と昔とにては、發賣紙數に幾倍を増し、其代價は下落しが、今も全國平均の總額、及ては十八年來、少くも五割の増加と來し、現時全國新聞雜誌の賣捌、僅け高年に、一百万圓を下らざるや、明のあり、而して、此中新聞紙賣捌人ある營業者之手に係る者、各社直接配達に係る者との比例を、舉ぐれば、或は八二或は九一との關係と爲すも、あれども、内端に積り、尙ほ十中の七の賣捌人、手を経由し、殘る其三と各社直接配達に分して計算するに、一箇年間、少くも一百万圓の商賣、新聞紙賣捌人の手に於て、運轉しつゝある者なるに、今日俄に法と改めて、前條風説の如き次第にも、立至らば、現在一百万圓の商賣に、依りて生活維持する營業者は、一時に悉く其業を失して、衣食に迷ひざる可らず、小事たるに似たれども、官府、營業者の爲めに其安全と計るの務めとして、豫め其邊に熟慮あらん、我輩の希望に堪へず。

官報

○逓信省令第二號
 明治二十年(十二月)勅令第六十六號ニ據り三等郵便局長採用規則左ノ通之ヲ定ム
 明治廿一年四月廿七日 逓信大臣子爵榎本武揚
 三等郵便局長採用規則
 第一條 三等郵便局長ハ左ノ各款ヲ具備スル者ヨリ之ヲ採用スルニシテ、第一條 其三等郵便局所在地ニ在リタル者ニシテ、實價二百圓以上ノ土地又ハ家屋ヲ所有スル者ニシテ、日常ノ算筆ニ通スル者ニシテ、別ニ定ムル三等郵便局長服務規約ヲ遵奉スル者ニシテ、第五款年滿二十年以上ノ男子ニシテ、第二條 誠實ニ職務ヲ奉ルタル三等郵便局長老年又ハ疾病其他ノ事故ニ依り其職ヲ辭スルカ、或ハ在官中死亡セシキ其嗣子又ハ相續人タル男子年滿十六年以上ニ及ブモノハ、第一條第五款ノ制限ニ拘ハラズ特ニ採用スルコトアルニシテ、第三條 非戸主ニシテ、其戸主實價二百圓以上ノ土地又ハ家屋ヲ所有スル者保護スルニ於テハ、其本人ノ資産第一條第二條ニ適合セサルモ、特ニ之ヲ採用スルコトアルニシテ、大藏省訓令第二十二號
 北海道廳 府縣沖繩縣ヲ除ク
 煙草稅則改正ニ就キ其取扱方要領左ノ通心得ニシテ、明治廿一年四月廿七日 大藏大臣伯爵樺山正義
 煙草稅則取扱方要領
 第一款 吸煙ノ用ニ供スル煙草類(混和製ノ諸品トモ)ハ、總テ稅則ニ照シテ之ヲ取扱フニキモノトシ、第二款 左ノ事項ハ從來各府縣ニ於テ經驗セル取締規則其他

ノ慣例ヲ參酌シ改正稅則ノ精神ニ基キ適宜ノ取締ヲ施スモノトシ、一葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、二葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、三葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、四葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、五葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、六葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、七葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、八葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、九葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、十葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、十一葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、十二葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、十三葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、十四葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、十五葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、十六葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、十七葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、十八葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、十九葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、二十葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、二十一葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、二十二葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、二十三葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、二十四葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、二十五葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、二十六葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、二十七葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、二十八葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、二十九葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、三十葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、三十一葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、三十二葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、三十三葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、三十四葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、三十五葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、三十六葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、三十七葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、三十八葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、三十九葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、四十葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、四十一葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、四十二葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、四十三葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、四十四葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、四十五葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、四十六葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、四十七葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、四十八葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、四十九葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、五十葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、五十一葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、五十二葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、五十三葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、五十四葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、五十五葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、五十六葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、五十七葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、五十八葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、五十九葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、六十葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、六十一葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、六十二葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、六十三葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、六十四葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、六十五葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、六十六葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、六十七葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、六十八葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、六十九葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、七十葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、七十一葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、七十二葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、七十三葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、七十四葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、七十五葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、七十六葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、七十七葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、七十八葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、七十九葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、八十葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、八十一葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、八十二葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、八十三葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、八十四葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、八十五葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、八十六葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、八十七葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、八十八葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、八十九葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、九十葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、九十一葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、九十二葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、九十三葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、九十四葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、九十五葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、九十六葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、九十七葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、九十八葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、九十九葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、一百葉煙草ノ取締即チ檢査封印等ノ方法ヲ施ス、

市制及町村制

全二冊ノ内町制
 制ノ部正價金七
 鐵郵稅金八錢
 全一冊 近刻

水谷六郎
 抽着係是迄長崎ニ住居致居候處今般當地へ引越左ノ處
 一住居致候間此段厚知諸君ニ御報申上候也
 東京小石川區調布町三十七番地
 明治二十一年四月

越中汽船會社出賣廣告
 石濱兩館 五月一日貨物精切
 伏木行 同月三日品川出帆
 小朝町三丁目越中汽船會社代理店

○武將軍比
 去る四月三
 談、將軍の
 軍はノール
 一様は議員
 九が爲め
 而して此一
 の無主義
 ものあ
 し先憲法
 以て右の通
 其方案は秘
 發の報に見
 ○米國海岸
 上院議員
 を委員と
 ばし先同地
 り之に付き
 府の政略は
 造船廠及び
 屯營と數
 ランドの造
 ボルタル氏
 要と述べて
 め凡て北太
 の之を爭端
 堅固なる
 間に見えた
 ○大坂中學
 關西高等商
 は既に昨年
 右改良の方
 高等商業
 教諭水嶋鐵
 と實視し又
 に角濱田校
 し水嶋氏が
 々協議の上
 前種子嶋大
 改革を實施
 は現在職員
 ハワイコッ
 此内一級生
 三級生三十
 皆五級以下
 諸君が如く
 科を改正し

柿

當校施療病室
 等ノ患者三十三
 九時ヨリ十時